



トヨタ東日本学園開所

トヨタ自動車東日本(株)

トヨタ東日本学園は、東日本大震災後の2011年7月にトヨタが発表した『モノづくりを通じた復興促進取組み』の一環として、2013年3月27日に開所しました（宮城県黒川郡大衡村）。

本学園は、「人づくり」「環境・エネルギー対応」「地域連携」の3つを柱とし、「三位一体で未来の力を育てる学園」として、学園教育による人材育成はもちろん、先進的な環境・エネルギーマネジメント機能を備え、生徒や教員の参加型による、省エネ・省CO2活動を推進、さらに地域に開かれた学園を目指します。

学園建物の特徴としては、少エネルギー負荷（電力使用量）を目指し、「F-グリッド(*)」と学園を連携させ、エネルギー需給効率を向上させる仕組みや（太陽光発電設備、蓄電池の設置等）、高い耐震性能と自立的なエネルギーシステムを備えています。また、衛星電話等を常備し、地域における災害時の情報受発信拠点としての活用が可能です。

トヨタ自動車東日本は、トヨタグループのモノづくり競争力を向上させ、地域の復興に貢献するべく、トヨタ東日本学園での人づくりを中心とする活動を通じて、東北におけるモノづくり基盤強化に中長期的に取り組んでまいります。

*）F-グリッド：宮城県大衡村の第二仙台北部工業団地で実施検討中の「隣接工場・地域間」における総合的エネルギーマネジメント



